

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(4)-ア	臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成	施策	① 国際物流機能の強化	
			施策の小項目名	○航空物流機能の強化	
主な取組	那覇空港の滑走路増設整備			実施計画記載頁	218
対応する 主な課題	①アジア地域の経済成長に伴い、アジア域内外の国際物流がますます活発化する中、上海、香港、シンガポール等では、戦略的なインフラ整備等により、我が国や海外の企業の生産・物流拠点の立地等による産業の集積が進展し、国際的な物流拠点として確固たる地位を築いている。 沖縄では、平成21年に那覇空港の国際航空物流ハブ事業が開始され、東アジアの中心に位置する沖縄の地理的特性は物流面で優位性を発揮するようになった。しかしながら、激しい国際競争の中、沖縄に競争力のある国際物流拠点を形成し、発展していくには、物流先進地域と同等の高いレベルのインフラ整備、空港と港湾の効率的な機能分担(シーアンドエア)の実現、物流コストの低減、国際物流ネットワーク構築など、国際物流拠点としての空港及び港湾の機能を世界水準にまで高めていくことが重要な課題である。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
沖縄の地域経済を支える観光需要に対応するため、滑走路処理能力を年間13.9万回から18.5万回に増大させる滑走路増設事業を促進し、那覇空港の機能強化を図る。						
実施主体		国				
担当部課【連絡先】		企画部交通政策課 【098-866-2045】				
		滑走路増設整備(2,700m)				

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	那覇空港滑走路増設事業						R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
	主な財源	実施方法	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算見込額	当初予算額	
国直轄	その他	—	—	—	—	—	—	国直轄	○H30年度: 滑走路増設事業の平成31年度予算の確保について国に要請するとともに、事業の円滑な推進のため、課題について関係機関と協力して取り組んだ。 ○R元(H31)年度: 平成31年度末供用開始予定の滑走路増設事業が円滑に推進されるよう、課題について関係機関と協力して取り組む。

様式1(主な取組)

活動指標名	滑走路増設整備(2,700m)				H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	—	—	滑走路増設 整備の推進	—	100.0%	0	順調	<p>那覇空港滑走路増設事業の平成31年度予算の確保について、国に要請した。</p> <p>また、平成31年度末供用開始に向け、事業が円滑に推進されるよう、課題について関係機関と協力し取り組んだ。</p>
活動指標名	—				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H30年度					
実績値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度の取組改善案						反映状況				
<p>①沖縄振興の施策展開への影響が無く那覇空港滑走路増設事業の予算が確実に確保されるように、平成31年度末供用開始に向け、今後も国に着実な整備を行っていくよう要請していく。</p> <p>②県は平成31年度末供用に向け、事業が円滑に推進されるよう、引き続き、諸課題について関係機関と協力し取り組む。</p>						<p>①那覇空港滑走路増設事業の平成30年度予算は、平成29年度予算と同等額(国費で330億円)が計上され、所要額を確保することができた。</p> <p>②課題となっている漁船の移転先となる船だまり整備について、関係機関と協力し、平成30年度から具体的な整備に向けて調査設計を開始した。</p>				

## 様式1(主な取組)



### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・那覇空港滑走路増設事業は、平成25年度に新規事業化され、平成31年度末に供用開始を予定している。同事業が計画どおり着実に推進されるよう、引き続き課題について国等と協力し取り組む必要がある。

##### ○外部環境の変化

・平成31年3月の際内連結ターミナルの供用開始により国際線の受入能力が強化された他、国内線・国際線ともにLCCの路線数、便数の増加が見込まれており、更なる旅客数の増加が見込まれている。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・平成31年度末供用開始の計画どおりに整備が進むよう、引き続き、関係機関との会議等で連携を図る。



### 4 取組の改善案(Action)

・県は平成31年度末供用開始に向け、事業が円滑に推進されるよう、引き続き、課題について関係機関と協力し取り組む。